

## 医療・看護安全対策委員会情報 2009年12月号(No.68)

### 「抜歯時の不十分な情報確認」

**抜歯を行う前に必要な患者情報の確認がなされず、抜歯が行われた事例が2件報告されています**

抜歯の際に、確認されなかった情報として

「自己血輸血の採血の実施予定」「ワーファリン内服中の患者の凝固機能」

★事例 1 患者は、手術の1週間前に自己血輸血のため採血を予定していた。また、患者は、昨年より当院口腔外科に通院しており、自己血輸血の採血の前日に口腔外科を受診し、抜歯した。このため、翌日の自己血輸血の採血ができず、手術日までに日数がないため自己血輸血が不可能となった。主治医は、抜歯の可能性があることを知らず、抜歯が当院では自己血輸血の適応とならないことも認識していなかった。また、口腔外科との連携が不十分であった。

また、ワーファリン等の抗凝固剤内服中の患者においては、検査や手術の種類によっては、それが延期になる場合があります。患者の情報確認には十分注意しましょう。

詳細は、日本医療機能評価機構の下記URLをご参照下さい。

[http://www.med-safe.jp/pdf/med-safe\\_36.pdf](http://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_36.pdf)